

# メディアセミナー ご取材のお願い

## 世界で警告される「薬剤耐性(AMR)」の脅威 「薬剤耐性(AMR)\*対策の現状と取り組み 2020」

【日時】 2020年10月6日(火) 16:00～18:00 (入室開始15:30)  
オンラインセミナー

国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター(厚生労働省委託事業)は、昨今問題となっている薬剤耐性(AMR)の最新情報と今年度の調査データを発表するメディア向けセミナー「薬剤耐性(AMR)対策の現状と取り組み 2020」を開催します。

AMR臨床リファレンスセンターは、薬剤耐性の発生を減らし拡大を防ぐため日本政府が発表した「薬剤耐性(AMR)アクションプラン」に基づく取り組みを行う目的で2017年4月に設立されました。

現行のアクションプラン最終年度となる今年のセミナーでは、その成果と課題、日本における抗菌薬の使用状況、市民意識調査の結果など、これまでの活動と今後の展望を各チームの担当医師からお話します。

新型コロナウイルスの流行からもわかるように、感染症の流行は社会に大きな影響を及ぼします。国連は2050年までに薬剤耐性により、年に1000万人が死亡し、がんの死亡者数を超え、金融危機に匹敵するダメージを受けるおそれがあると警告しています\*。

日本でも、毎年11月を「薬剤耐性(AMR)対策推進月間」に設定し普及啓発活動を推進しています。つきましては、ご多忙とは存じますが報道関係のみなさまのご参加を賜りますよう心よりお待ち申し上げております。

\*AMR (Antimicrobial resistance) とは、病原体が変化して抗菌薬・抗生物質が効かなくなることです  
\* <https://news.un.org/en/story/2020/04/1037471>

No Time to Wait: Securing the future from drug-resistant infections Report to the Secretary-General of the United Nations April 2020

### プログラム

16:00-16:20	<b>AMR対策アクションプラン</b> これまでの成果と今後の課題	AMR臨床リファレンスセンター センター長	おおまがりのりお <b>大曲 貴夫</b>
16:20-16:40	<b>薬剤疫学室からの報告</b> ● 抗菌薬使用量の推移と使用状況	薬剤疫学室 室長	くさま よしき <b>日馬 由貴</b>
16:40-17:00	<b>臨床疫学室からの報告</b> ● 病院でのサーベイランス (J-SIPHE) ● ワンヘルス分野の取り組み	臨床疫学室 室長	まつなが のぶあき <b>松永 展明</b>
17:00-17:20	<b>情報・教育支援室の取り組み</b> ● 市民の意識調査からみえること ● 11月「薬剤耐性(AMR)啓発月間」キャンペーンについて	情報・教育支援室 室長	く よしあき <b>具 芳明</b>
17:20-18:00	* 質疑応答		

返信先▶

AMRCRC広報事務局  
共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部4部 高橋(速)宛  
TEL : 03-3571-5236

メールアドレス▶amr-pr@kyodo-pr.co.jp

FAX返信番号▶03-3571-5380

厚生労働省委託事業

メディアセミナー ご取材のお願い

## 世界で警告される「薬剤耐性」の脅威 「薬剤耐性 (AMR) 対策の現状と取り組み 2020」

日時 ■ 2020年10月6日 (火) 16:00 オンラインセミナースタート  
(入室開始 15:30 終了 18:00)

### プログラム

- 16:00-16:20 AMR対策アクションプランこれまでの成果と今後の課題
- 16:20-16:40 薬剤疫学室からの報告
- 16:40-17:00 臨床疫学室からの報告
- 17:00-17:20 情報・教育支援室の取り組み
- 17:20-18:00 \* 質疑応答

▼該当する欄に印をつけ、必要事項をご記入の上、10月2日(金)までにご返信ください。  
参加URLはお申し込み後にお送りいたします。

ご出欠	<input type="checkbox"/> ご出席	<input type="checkbox"/> ご欠席
貴社名		
貴メディア名		
貴部署名		
ご芳名	他 名	
ご連絡先	TEL e-mail	FAX
ご要望等		